

船舶事故調査報告書

平成29年8月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成29年4月15日 10時25分ごろ
発生場所	香川県多度津町多度津港の造船所の艀装岸壁 多度津港西防波堤灯台から真方位151°80m付近 (概位 北緯34°16.9′ 東経133°44.2′)
事故の概要	貨物船MONDIAL COSMOSは、着岸中、また、貨物船大丸は、入航中、両船が衝突した。
事故調査の経過	平成29年4月15日、主管調査官（広島事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 MONDIAL COSMOS（マーシャル諸島共和国籍）、43,473トン 9801196（IMO番号）、MONDIAL INTERNATIONAL ENTERPRISES S.A. B 貨物船 大丸、196トン 135561、和幸船舶株式会社
乗組員等に関する情報	A なし B 船長B、六級（航海） 機関員B
負傷者	なし
損傷	A 右舷船首部外板に凹損 B 船首部に凹損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	A船は、造船所の艀装岸壁に着岸中、その右舷船首部にB船の船首部が衝突した。 B船は、多度津港に入航する態勢で南西進中、軸発電機から補助発電機への切替え作業を行うこととし、機関員Bが用を足して機関室に向かったところ、前部甲板で甲板機械の使用が開始され、間もなく船内電源が切れて運転不自由な状態となった。 B船は、船長Bが、電力の供給が止まって主機が停止したことを知り、右舷錨を投下させて錨鎖を3節まで入れて船体を停止させようとしたが、A船に衝突した。
分析	A船は、着岸中、B船が衝突したものと考えられる。 B船は、入航中、軸発電機から補助発電機へ切り替える前に甲板機械が使用されたことから、使用電力が供給電力を上回って電力の供給が止まり、運転不自由な状態となって航行を続け、着岸中のA船に衝

	<p>突したものと考えられる。</p> <p>B船は、機関員Bが、軸発電機から補助発電機へ切り替えるために機関室へ向かったものの、途中で用を足していたことから、補助発電機へ切り替える前に甲板機械が使用されたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、B船が、入航中、軸発電機から補助発電機へ切り替える前に甲板機械が使用されたため、使用電力が供給電力を上回って電力の供給が止まり、運転不自由な状態となって航行を続け、着岸中のA船に衝突したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入航に際し、補助発電機への切替えは、時間的な余裕を十分に見込んで完了しておくこと。 ・ 発電機の切替え等を確認した上で甲板機械を使用すること。